



トヨタ財団の研究助成に採択されました！

■快挙！

ORA 外国人雇用推進部門会を中心として結成された研究チーム「外国人適正雇用プラットフォーム」が、トヨタ財団より3年にわたり950万円の研究助成に採択されました。

■トヨタ財団の研究助成とは

トヨタ財団は、1974年にトヨタ自動車によって設立された助成財団で、生活の質の向上、自然環境の整備と保全、社会福祉の充実、教育・文化活動の振興などにつながる意欲的・創造的な研究や事業に対して様々な助成をされてきました。

その助成金の一つに、2019年に創設された「特定課題 外国人材の受け入れと日本社会」というカテゴリーがあります。その2023年度募集に対し、私たちORA外国人雇用部門会は日本とインドネシアの研究者や専門家チームを構成し、議論を重ねて昨年11月に企画書を提出しました。

■チームORA「外国人適正雇用プラットフォーム」の研究企画

私たちチームORA「外国人適正雇用プラットフォーム」は「外食産業を事例とする求職外国人と求人事業者のミスマッチ構造に関する調査研究ならびにその解消のための事業構築」と題する研究企画を提出しました。外食産業で特定技能での外国人採用がはじまりましたが、雇用する側は「長く働いてほしい」と考え、外国人にとっては一過的な出稼ぎであることもあります。しかし「2,3年で帰ります」と面接で言えば不利に働くと考える人材紹介会社は「長く日本で働きたい」と言うように指導します。こうして互いに本音も実情も知らず、事態は「複雑で不安定な外国人雇用」となっていきます。このようなミスマッチを解消するために、互いの本音と実情を調査して、外食産業において率先して適正な外国人雇用を推進する仕組みを作るという研究企画です。

■贈呈式に井上副会長が出席

54もの応募者の中からわずか6者しか採用されない狭き門をくぐり、4月12日に行われた助成金贈呈式には井上副会長と私が出席してまいりました。これから3年間、この資金を活かしてしっかりと研究活動を進め、社会問題解決に貢献したいと思っておりますので、会員企業の皆様の益々のご協力をよろしくお願いいたします。

株式会社 CONVI(ORA 賛助会員社)

代表取締役 鍋島祥郎 (ORA 外国人雇用推進部門会筆頭業務委員)

【業務内容】国外にわたる有料職業紹介業務(インドネシア)

- 技人国、特定技能、インターンシップ等の在留資格で日本で働きたい人材を紹介します。
- インドネシアへの販路開拓を検討されている事業者の支援を行います。
- 留学生を日本の教育機関に紹介します。
- インドネシア人労働者に対する日本語学習支援、生活支援を行っています。

